



# 城南中だより

第16号

平成30年3月23日(金)

学校教育目標

絆をつよめ 共に高め合う 心豊かな生徒  
～自立に向けた基礎をつくる～(知・徳・体の育成を通して)

目指す学校像

共に学び合い、安心して自分の可能性を伸ばせる学校

## 本年度最終号にあたり

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対しまして、格段のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちを取り巻く社会は、情報化やグローバル化が今後ますます進展し、様々な変化に対応できる「生きて働く力」を身につけることがよりいっそう大事になってきます。このような中で、『共に協働しながら持続可能な社会の創り手となる人材』の育成が求められています。本校におきましても、子どもたちが、学力や技能・道徳心・体力・思考力などを身につけるとともに、人との関わり合いの中で互いに高め合う指導を推進してまいります。

来年度も、生徒及び保護者アンケートをふまえて行った学校評価や、学校評議員の皆様からのご意見を生かし、教育内容の向上を図っていきたいと考えています。そして、生徒自身が身の回りの問題を自分の問題ととらえ、互いに高め合いながら学校生活の向上に取り組むような自主性・自律性を育てていきたいと考えています。

## << 厳粛な中で感動の卒業式 >>

3月15日(木)、多数のご来賓のご臨席を賜り、第69回卒業式を挙行了しました。

正門のこぶしの花が咲き誇り、朝の凜とした空気の中で、厳粛で、感動いっぱいの卒業式となりました。城南中学校をリードしてきた3年生らしく、落ち着いたある態度で式に臨み、3年生合唱「旅立ちの日に」、2、3年生合唱「大地讃頌」では、感動の歌声を体育館に響かせました。この紙面では、卒業生代表の「別れの言葉」を紹介します。



卒業生 別れの言葉

平成30年3月15日

私は、卒業生代表として、今日この場に立てることをとても誇らしく思うとともに、今日が卒業式であることを意識すると、毎日のように会っていた仲間や先生と別れるさみしさを感じます。

今、思い返せば、たくさんの思い出がありました。4月の雪の降る日に私たちは入学しました。緊張の中、1人ずつあいさつしていったのを覚えているでしょうか。希望と不安を抱きながら、私たちの城南中学校での生活が始まりました。対面式では、迫力ある吹奏楽部の演奏とともに入場しました。また、在校生の合唱も力強く、感銘を受け、これからの学校生活に胸をふくらませた人も多かったでしょう。

1年生のころは、初めてのことがたくさんありました。体育祭や合唱コンクールなどの学校行事は、クラスで協力して取り組むものへと変わり、混乱した人も多かったと思います。クラスがまとまらないなど、様々な問題も起きました。定期テストや部活動でも、自主性がとても大事になり、何に対しても意欲的に参加することが必要になりました。

2年生になると、城南中のリズムをつかみ、クラス内でも活動が盛んになりました。1年生のころにあった緊張や不安も学校生活を送っているうちに解消され、細かいところまでこだわりを楽しむことができました。また、後輩もでき、学校の中心を任されることも多くなってきました。部活動では、部長を中心に仲間と切磋琢磨していきました。仲間と競い合い、絆を深めることが



できました。夏の暑い日には汗をかき、冬の寒い日には気持ちを奮い立たせ合い、そうしているうちに、かけがえのない仲間になっていきました。新人戦では、『城南中』というチームとして、互いに応援し合いました。また、行事でもより高度なものに挑戦することが増えました。



そして、2年生のメインイベントといえば、修学旅行でしょう。事前学習を通して、古都の文化に触れ、班員でルートを決めていくことで、班の中での団結力が深まり、行く前日は楽しみで眠れませんでした。何もかもが新鮮に感じられました。タクシーの運転手さんと一緒に回った班行動や先生の気配に耳を澄ませながら班員と語り合った夜など、最高の思い出ができました。

そして、3年生。受験生であり、城南中学校で過ごす最後の年。様々なことに『最後の』という言葉が付きましました。部活動は、最後の大会に向け、『城南魂』を見せつけるべく気持ちを高め合ってきました。結果はどうあれ、城南中全体で奮い立たせ

合うことで、絆が深まり、団結できました。

最後の体育祭。どのクラスも最後の体育祭に向けて、協力してきました。組体操や扇ダンスでは、最高学年として強い意志を持ち、練習に取り組んできました。全員が『成功させるぞ』という気持ちで臨んだことで、組体操では3年生全てのピラミッドをあげることができ、扇ダンスでは、とても美しい演技を行うことができました。また、組体操や扇ダンスだけでなく、クラスや学年でも一つの方向に向かい、一つになって取り組みました。全員リレー後に感動することができたのは、学年一丸となり、進んでこられたからだと感じます。



最後の合唱コンクール。3年生は、朝練習にも積極的に取り組み、最大限の練習を行ってきました。金賞を目指すクラスや楽しむというクラスなど、方針は違っても全員で曲を作っているということを感じました。結果発表の際に、3年生の反応が一番強かったのは、一人一人が全力で取り組んでいたからでしょう。

私たちが過ごしてきた3年間は、言葉では言い表せないほどのものです。入学時からこれまで、勉強だけでなく、仲間との関わりを通して様々なことを学ぶことができました。最高の仲間と出会い、かけがえのない中学校生活を送り、今では、卒業したくないと思えるほどです。しかし、出会いには別れはつきものです。自分を育て、成長させてくれたところを弔つことに寂しさを感じています。今日で、3年間ともに過ごしてきた仲間、先生と会えるのは最後です。もういつものように教室で笑い合えることはできなくなります。いつものように、他愛のない会話をすることもできなくなります。そして、旅立つ際、不安を感じる人も多いでしょう。

しかし、皆さん忘れないでください。私たちには、ともに生活してきた、仲間、先生方。なにより、私たちを愛してくれる両親がいることを。勉強だけでなく、社会に出てからのことを教えてくれた先生方、常に私たちを見守ってくださった地域の方々など、たくさんの人にお世話になりましたが、私たちを一番支えてくれたのは両親であると思います。自分の命をかけて私たちを産み、常に私たちを第一に考えてくれました。どんなときも、自分のように悲しみ、喜んでくれました。今、こうして私たちがこの日を迎えることができているのは、保護者が愛を込めて育ててくれているからです。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。

私たちは、両親を含め、様々な人の思いを背負っています。その想いに応えられるよう、私たちは、精一杯羽ばたいてきます。

最後になりましたが、皆様のご健勝と、たくさんのお会いをくれた城南中のさらなる発展を卒業生一同、心からお祈りし、別れの言葉といたします。

## << 3年生の意思を引き継ぎます >>

3月8日(木)、生徒会本部役員と実行委員会の企画・運営で、「3年生を送る会」を盛大に実施しました。部活動の後輩からの工夫を凝らした「ビデオレター」には、感謝の気持ちとエールがこめられ、感動と笑顔に包まれました。また、「思い出のスライド」には、目に涙を浮かべ、顔をタオルでおおう3年生も見られました。後輩たちが心を込めて手作りで準備した温かいお祝いの会になりました。

